

## 歴史の道

「金沢歴史の道」と呼ばれる旧国道沿いには、中世から現在までの歴史を感じさせる神社仏閣・遺跡・言い伝えなどが多く残されています。金沢は、中世に鎌倉の東の玄関口として栄えた頃、江戸時代後期に風光明媚な見どころとしてたくさんの旅人が訪れた頃、近代に政治家や実業家などが別荘を建てて住んだ頃と様々な時代の顔を持っています。

### 瀬戸神社

かつて瀬戸の内海は、狭い出入り口で平潟湾と接していました。この辺りは急流渦巻く交通の難所で、古代人は海神を祀り厚く信仰していました。源頼朝はこの霊地に伊豆三島明神を勧請したのが瀬戸神社の始まりです。主祭神は大山祇命（オヤマミコト）です。鎌倉幕府滅亡後も鎌倉公方足利持氏・成氏父子の崇敬を受け、徳川家康も参拝しました。多くの文化財が残されていますが、「抜頭面」と「陵王面」（国重文）は源実朝が使用し、北条政子が奉納したと伝えられています。境内には樹齢千年とも伝えられるカヤの木や多くの名木・古木があります。また、謡曲「放下僧」の舞台にもなっています。金澤七福神では弁財天を祀っています。

### 瀬戸橋

嘉元3年（1305）金沢北条氏は瀬戸の内海の出口に島を築き、両側に二つの橋を架けた「瀬戸橋」を造営しました。この橋は、「瀬戸橋造営棟別銭」という臨時の税金を取り立てて造られました。

### 東屋跡

金沢が観光地として栄えた頃、瀬戸橋近くに「東屋」「千代元」「扇屋」などの大きな割烹旅館があり、多くの文人墨客が訪れていました。今は、「千代本（元）」だけが営業をしています。

### 明治憲法草創の碑

明治21年（1888）6月から伊藤博文は金子堅太郎らと東屋で憲法の草案を練っていました。後に、盗難や漏えいを恐れ、夏島の伊藤の別荘で行われることになりました。昭和10年（1935）、金子の書になる石碑が東屋の庭に建てられました。東屋の廃業により一時野島に置かれていましたが、歴史の道の整備に伴い現在地に移されました。

### 龍華寺

知足山。真言宗御室派。本尊は大日如来。源頼朝が六浦山中に建立した浄願寺が始まりです。明應8年（1499）、浄願寺の住職融弁が兼務していた光徳寺を合併し、現在地に龍華寺が再興されたと伝わっています。『江戸名所図会』には広大な敷地や本堂・庫裡・鐘楼・塔頭が描かれています。多くの文化財が残っていますが、近年発見された「脱活乾漆像」は天平時代の貴重なものです。金澤七福神では大黒天が祀っています。



金沢区の花：牡丹  
（龍華寺）

### 安立寺

福船山。日蓮宗。本尊は十界大曼荼羅と感応の祖師像。もとは修験僧・悟明の庵室でした。下総から鎌倉に向かう日蓮と富木胤継（常忍）が船中で法論をして決着がつかず、悟明庵でも続きました。この時日蓮の教えに感銘を受けた悟明は、弟子となり安立院日悟と名前を改めて、安立寺を開基したと伝えられています。「船中問答着岸の霊場」の石碑があります。

### 伝心寺

嗣法山。曹洞宗。本尊は、釈迦如来。宝治元年（1247）北条時頼が開基となって創建されたと伝わっています。また、大永元年（1521）小田原北条氏繁が養拙宗牧（ヨシツツホリ）を開山として建立したとも言われています。度重なる火災に遭って詳しい史料が残っていません。境内の3基の宝篋印塔の内、中央にある五輪塔が氏繁の墓ではないかと言われています。山門の建築様式に特徴があります。金澤七福神では毘沙門天を祀っています。

### 金澤八幡神社

主祭神は応神天皇で、古くからこの一帯の総鎮守です。金沢文庫の古文書に、「称名寺金堂の屋根を葺くために檜皮を八幡宮の前で荷揚げした」と記されています。神社の前には瀬戸の内海が広がり八幡河岸と呼ばれる船着き場がありました。

### 薬王寺

三療山医王院。真言宗御室派。本尊は薬師如来。源頼朝の弟である範頼の別邸があったこの地に鎌倉時代の初期に建立された三愈山遍照房が始まりと伝えられています。範頼の位牌、かつての本尊・大日如来、種子曼荼羅、鎌倉末期の作とされる聖観世音菩薩像などがあります。明治期、寺前や谷津にあった幾つかの寺院の本尊が安置され、近隣の石塔も集められています。朝夕6時に梵鐘が時を知らせています。

### 称名寺

金沢山。真言律宗の別格本山。本尊は弥勒菩薩。鎌倉幕府の重鎮であった北条実時は金沢に別業（別邸）を持ち浄土教の持仏堂を建てましたが、文永4年（1267）頃、真言律宗の叡尊に感銘を受け、審海を開山として真言律宗に改めました。実時は学問を好み、あらゆる文献・文書を集めました。これが金沢文庫の基になりました。実時没後は顕時、貞顕、貞将らによって称名寺も金沢文庫も充実しました。特に十五代執権の貞顕の時には七堂伽藍を構える大寺院に発展しました。鎌倉幕府滅亡後衰退しましたが、鎌倉公方や徳川家康らに保護を受けた時期もあります。昭和53年（1978）から約10年かけて発掘調査が行われ、美しい「浄土庭園」が復元されました。